病理専門医プログラム

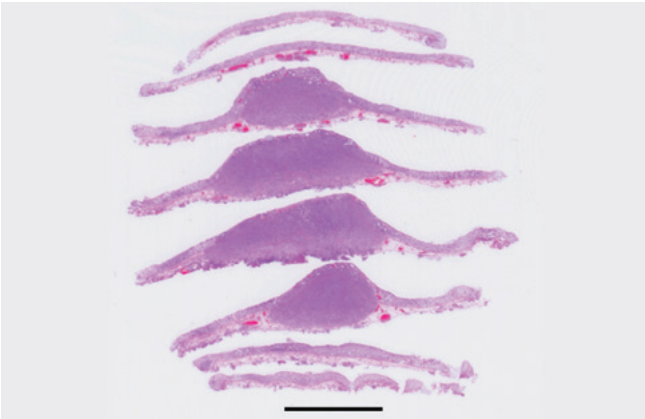
定員 1名

プログラム責任者

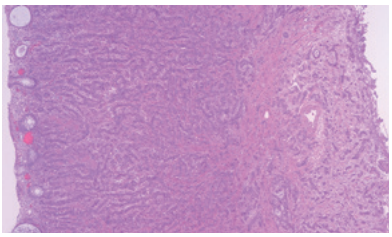
病理診断科

高橋　さつき　病理診断科部長

専門研修担当者連絡先	高橋　さつき　病理診断科部長 TEL.0182-32-5121(内)2200　FAX.0182-33-0950 E-mail　sasa23sa5stsk5@gmail.com



プログラムの特徴・説明



病理診断は、組織や細胞などの実体に基づくもので、すべての疾患治療の根拠となるものです。この分野を構成する専門医として、実力を発揮しませんか。

基幹病院の平鹿総合病院では、日々の病理診断・術中迅速診断・細胞診・剖検症例に携わりつつ、経験を蓄積し、独り立ちした病理専門医を目指します。がん診療連携拠点病院であり、現在は乳腺科と血液内科の症例がとくに豊富です。日常の実践的な基礎としての症例に加え、希少症例もあり、多彩な症例により、学会発表や論文投稿などを行い、考察を深めます。細胞診は地域の検診も担っているため、基礎から実践に参加できます。

連携施設の大曲厚生医療センターでは、実地の病理診断の経験を拡張していきます。呼吸器外科や耳鼻科の症例が豊富で、細胞診も共に学習可能です。

連携施設かつ基幹病院の秋田大学医学部附属病院や弘前大学医学部附属病院では、希少症例あるいは高度な症例を、以前の蓄積症例を含めて、さらに拡張した学習を重ねます。大学院、研究施設もありますので、分子病理学の入門部分を実践、習得可能です。

施設認定、関連施設 など

■主な連携施設

大曲厚生医療センター、秋田大学医学部附属病院、弘前大学医学部附属病院

■資格、講習会、学会活動（参加と発表が推奨されている）

死体解剖資格（国家資格／必須）　2年間で20例の剖検経験で申請、取得

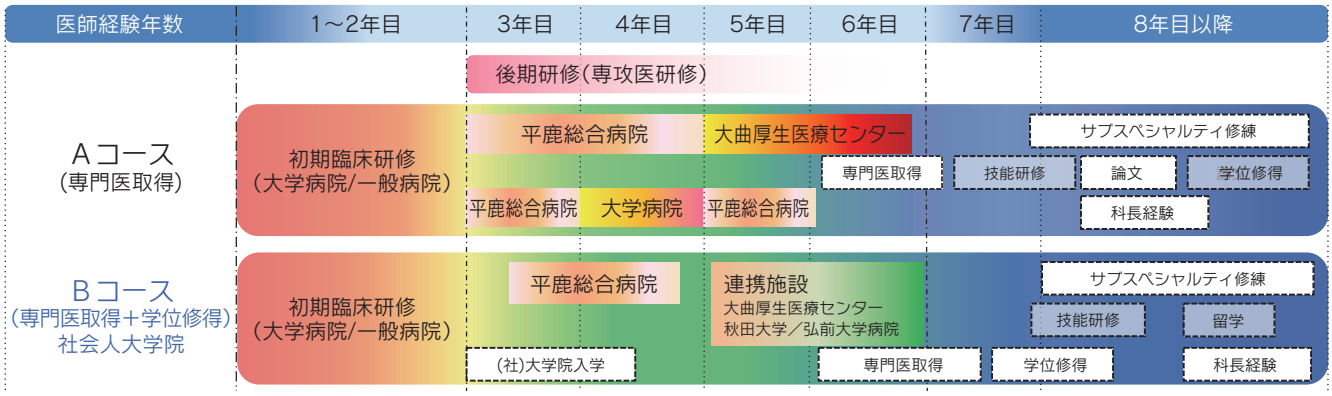
病理学会の定める、剖検講習会・細胞診講習会・分子病理講習会など発表

日本病理学会総会、日本病理学会東北支部学術集会、日本臨床細胞学会など

■福利厚生

後期研修医、卒後○年目、として採用され給与がでます。

■取得までのキャリアパス



◆必須資格：死体解剖資格